

指定番号5 よこくらりよかん 横倉旅館 しゅおくもん (主屋・門)

所在地	戸隠中社
建築年代	主屋：明治4年（1871）～明治6年（1873） 門：江戸時代以前
建築概要	主屋（木造2階建、寄棟造、平入、茅葺） 門（切妻造、茅葺、薬医門）
特徴等	<p>横倉旅館は、戸隠神社の宿坊の一つで、中社大鳥居から東側に延びる横大門通りに沿って通りの北側に敷地を構える。横大門通りに面して、門と土蔵が配され、その奥に主屋が位置する。</p> <p>主屋は、明治4年（1871）から明治6年（1873）に建てられた木造2階建、茅葺、寄棟造の建築で、明治期になって2階建ての宿坊が多く建てられた中でも、初期に建てられた代表的な宿坊である。門は、地域で唯一の茅葺きの門で、朱塗りの木部と精細な彫刻が施された<small>かえるまた</small>臺股などの細部が特徴的である。</p> <p>横大門通り沿いには、中社の大鳥居から、五斎神社拝殿、宿坊極意、成瀬旅館、横倉旅館と茅葺形の屋根をなした大屋根の建築が連続しており、戸隠の中でも特に歴史的な景観がみられる通りである。とりわけ、横倉旅館の敷地内には、主屋のみならず門や土蔵ものこされており、横大門通りの歴史的景観を構成する貴重な宿坊である。</p>
備考	



横倉旅館 案内図 S=1:5,000



写真1 宿坊外観（南から）



写真2 門外観（南西から）



横倉旅館 配置図 S=1:1,000